

① 下水道クイックプロジェクトモデル市町村における進捗予定

資料3

※現在、施工または検証中の技術・案件について抜粋

社会実験技術	採択市町村	地区	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	備考
工場製作型 極小規模 処理施設	接触酸化型	北海道苫前町 古丹別第1処理区 (第1系列)							★ 計画流入水量 全体計画:330m ³ /日 ★ 今回計画:55m ³ /日(1系) ※110m ³ /日(2系)は、1系に流量を集めるため停
		北海道遠軽町 白滝処理区							★ 計画流入水量 全体計画:16m ³ /日 ★ 今回計画:16m ³ /日
	膜分離型	北海道安平町 安平処理区 (第1系列)							★ 計画流入水量 全体計画:210m ³ /日 ★ 今回計画:70m ³ /日(1系)
	膜分離型	北海道標茶町 磯分内処理区							★ 計画流入水量 全体計画:142m ³ /日 ★ 今回計画:71m ³ /日
	膜分離型 (PMBR)	岩手県二戸市 浄法寺処理区							★ 計画流入水量 全体計画:300m ³ /日 ★ 今回計画:300m ³ /日

進捗及び予定: ★ 一般化対象 ★ 初期対応の一次評価 ■■■ 設計 ■■■ 施工 ■■■ 検証

② 今年度の取組方針

(1) 工場製作型極小規模処理施設

本技術については、供用開始後、流入汚水量が計画汚水量(=既設能力)の1/2に達した市町村を一般化の対象として取り扱う方針としている。

平成24年2月以降、北海道苫前町の接触酸化型施設が流入汚水量が1/2に達していることから、当該施設を対象に一般化の審議(第1回委員会:経過報告、第2回委員会:評価)を行い、他の市町村については、経過報告を行う方針である。